

脱炭素先行地域選定に対する市長コメント

本日、脱炭素先行地域の第2回選定結果が国から公表され、当市と中部電力株式会社との共同提案が選定されました。

1996年から「環境文化都市」を目指し、また、2021年3月に「2050年いいだゼロカーボンシティ宣言」を表明した当市にとって、大変喜ばしく、同時に身が引き締まる思いです。

選定された提案内容は、中部電力株式会社との共同事業である川路地区で「メガソーラーいいだ」をコア電源として計画している地域マイクログリッドを核とし、再生可能エネルギーの導入により防災力を高めつつ脱炭素社会の構築を目指すものであり、川路地区まちづくり委員会を中心とした住民の皆様にもご協力をお願いしながら進めてまいります。

また、2050年に向け、その時に中心年代となる現代の小中学生に、太陽光発電と蓄電池を活用した「脱炭素小学校」「脱炭素中学校」で、再生可能エネルギーを身近に感じながら地域での取組を学んでいただくことにより、これからの飯田市を担う人材を育成していく予定です。

これからリニア中央新幹線開通を控える飯田市として、市民、地域、事業者の皆様のご協力をいただきながら、地方都市の脱炭素化を加速するモデルとしてけん引していけるよう積極的に取組を進めてまいります。

飯田市長 佐藤 健